

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 12

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	アフタースクール整備事業	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりで満ちた福祉社会を築く-子育てしやすい環境をつくる-子育てと仕事の両立の推進		
対象	放課後家庭に保護者が不在の児童		
手段(方法)	小学校敷地等を利用し、放課後家庭に保護者等が不在の小学生児童を保育するため施設環境の充実等を図る。		
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	放課後、施設において児童を預かり、その安全確保を図り、児童の健全育成を目的とし少子化対策を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務
根拠法令・条例等	赤穂市アフタースクール子ども育成事業実施要綱、ひょうご放課後プラン事業実施要綱		
その他実施の根拠	児童福祉法		
始期・終期	H21 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	小学校区において実施		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	赤穂西アフタースクール新設整備	達成状況 100 %
	30年度実績	有年アフタースクール新設整備	達成状況 100 %
	元年度計画	赤穂アフタースクール空調整備	達成状況 - %
	元年度実績	赤穂アフタースクール空調整備	達成状況 100 %
	2年度計画	-	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
赤穂西アフタースクール新設整備		1				
有年アフタースクール新設整備			1			
赤穂アフタースクール空調整備				1	1	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
消耗品費		99,356	0	0	0	
工事請負費		4,914,000	3,011,040	1,700,000	1,293,840	
備品購入費		281,534	190,836	0	0	
財源内訳	国県支出金	922,000				
	地方債	2,200,000				
	その他					
	一般財源	2,172,890	3,201,876	1,700,000	1,293,840	
直接事業費 総額		5,294,890	3,201,876	1,700,000	1,293,840	0
人件費:人日数	一般職員:人日数	16	16	16	16	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		304,000	304,000	304,000	304,000	0
総事業費 計		5,598,890	3,505,876	2,004,000	1,597,840	0
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	アフタースクールの夏季休業時に対応するための空調整備のみであるため。				
	元年度予算と2年度予算の比較					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	学校等における整備場所の確保
市民のニーズ・満足度	利用者数は年々増加しており、放課後児童の安心・安全な場所の確保は必須でありニーズは高い。
連携事業	放課後子ども教室推進事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	赤穂市子ども子育て支援事業計画に基づき、市内全小学校区で実施するために今後も計画的に整備していく必要がある。
次年度予算への見直し方針	城西アフタースクールの増設を検討したい。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 利用人数の増に合わせて、余裕教室の改修等により、施設の整備を計画的に行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 有年小学校区を含めた全小学校区での実施。
	3年度以降の展開方針 利用者が飽和状態となっているアフタースクールへの対応検討。
部長の確認所見	利用人数が増加している施設について対応を検討する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 89

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	民俗資料館整備事業		担当部署	教育委員会生涯学習課		
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化施設の充実					▼
対象	民俗資料館利用者					
手段(方法)	快適な展示閲覧環境を維持するため、必要に応じた施設整備を計画的に行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	快適な展示閲覧環境の提供					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	57	年度	~	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	屋根葺き替え修繕			達成状況	100 %
	30年度実績	展示室LED照明切替、非常口誘導灯交換			達成状況	100 %
	元年度計画	トイレ改修			達成状況	- %
	元年度実績	トイレ改修			達成状況	100 %
	2年度計画	展示ケースLED化、案内看板修理			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容							
屋根葺き替え修繕			1				
展示室LED照明切替				1			
非常口誘導灯交換				1			
トイレ改修					1	1	
展示ケースLED化、案内看板修理							1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算	
修繕料		89,640	1,695,560	700,000	189,216	600,000	
工事請負費		7,668,000					
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	7,757,640	1,695,560	700,000	189,216	600,000	
直接事業費総額		7,757,640	1,695,560	700,000	189,216	600,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数	6	6	6	6	6	6
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数						
人件費総額		114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
総事業費計		7,871,640	1,809,560	814,000	303,216	714,000	
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備内容が異なるため。					
	元年度予算と2年度予算の比較	整備内容が異なるため。					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	建物自体が県の文化財であり、修復に関しては県との協議が必要となる場合がある。
市民のニーズ・満足度	建物を計画的に修繕することで来館者の快適な利用を図ることができるためニーズは高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	施設が老朽化しているため、優先順位を決めて計画的に施設整備を行う必要がある。
次年度予算への見直し方針	優先順位をつけて計画的な整備を行う。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	安全性に配慮しながら優先順位を決めて整備を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 優先順位を決めて整備を行う。
	3年度以降の展開方針 施設全体の整備計画について、優先順位を決め、計画的に整備を行う。
部長の確認所見	優先順位に基づき計画的に整備を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 90

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	歴史博物館整備事業	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化施設の充実					▼
対象	歴史博物館利用者					
手段(方法)	老朽化等による損耗箇所の修繕整備を行い、快適な展示閲覧環境を維持するため、計画的な施設整備を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	来館者に快適な施設を整備し、市の文化拠点として利用促進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	H1	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	空調設備改修外			達成状況	100 %
	30年度実績	義士シアター映像制作・非常口誘導灯改修			達成状況	100 %
	元年度計画	義士シアター改修・電話設備改修			達成状況	- %
	元年度実績	義士シアター改修・電話設備改修			達成状況	100 %
	2年度計画	展示ケースLED化、ハンズオン展示塩俵製作			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
空調設備改修外		1				
義士シアター映像制作			1			
非常口誘導灯改修			1			
義士シアター・電話設備改修				1	1	
展示ケースLED化						1
ハンズオン展示塩俵製作						1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
修繕料		762,484	530,280	470,000		1,100,000
工事請負費		2,138,400				
委託料			7,992,000			
通信運搬費				630,000	345,600	
備品購入費				4,000,000	3,942,000	1,000,000
財源内訳	国県支出金		3,996,000	2,000,000	1,400,000	500,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,900,884	4,526,280	3,100,000	2,887,600	1,600,000
直接事業費総額		2,900,884	8,522,280	5,100,000	4,287,600	2,100,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	6	6	6	6	6
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
総事業費計		3,014,884	8,636,280	5,214,000	4,401,600	2,214,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備内容が異なるため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	整備内容が異なるため。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	経年による損耗等が多く発生しているため、計画的に補修を検討していく必要がある。
市民のニーズ・満足度	来館者の快適な利用のためにも計画的な整備が必要である。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	経年劣化しているため、優先順位を決めて計画的に施設整備を行う必要がある。
次年度予算への見直し方針	優先順位をつけて計画的な整備を行う。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	優先順位を決め年次的・計画的な施設整備を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 展示ケースLED化、ハンズオン展示塩俵製作を行う
	3年度以降の展開方針 優先順位に基づき、年次的・計画的な整備を図る。
部長の確認所見	優先順位に基づき、年次的・計画的な整備を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 91

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	海洋科学館整備事業	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化施設の充実					▼
対象	海洋科学館利用者					
手段(方法)	快適な展示閲覧環境を維持するため、計画的に老朽化した施設の整備を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	来館者に快適な施設を整備し、市の自然科学学習拠点として使用促進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	S62	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	Q&Aコーナー改修外			達成状況	100 %
	30年度実績	水槽改修、階段手摺設置、にがりタンク設置、トイレ改修外			達成状況	100 %
	元年度計画	塩のギャラリー改修			達成状況	- %
	元年度実績	塩のギャラリー改修			達成状況	100 %
	2年度計画	空調改修工事、塩の国体験棟空調増設			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
Q&Aコーナー改修外		1				
水槽改修工事外			1			
塩のギャラリー改修外				1	1	
空調改修工事						1
塩の国体験棟空調増設						1
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
消耗品費		869,886				
修繕料		349,920	1,145,212	500,000	0	380,000
工事請負費		28,976,400	17,344,800	16,000,000	15,950,000	15,000,000
備品購入費						420,000
財源内訳						
	国県支出金		702,500			
	地方債					
	その他		1,554,512			
	一般財源	30,196,206	16,233,000	16,500,000	15,950,000	15,800,000
直接事業費 総額		30,196,206	18,490,012	16,500,000	15,950,000	15,800,000
人件費:人日数						
	一般職員:人日数	6	6	6	6	6
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
総事業費 計		30,310,206	18,604,012	16,614,000	16,064,000	15,914,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備内容が異なるため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	整備内容が異なるため。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	開館以来30年以上経過し経年劣化が多く発生しており、計画的に整備していく必要がある。
市民のニーズ・満足度	来館者の快適な利用のためにも計画的な整備が必要である。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	開館後30年以上経過し経年劣化しているため計画的に整備していく必要がある。
次年度予算への見直し方針	優先順位を決め年次的・計画的な施設整備を図る。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	展示品をリニューアルし、快適な展示に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 空調改修工事、塩の国体験棟空調増設を行う
	3年度以降の展開方針 老朽化に備え、適切に整備を行う。
部長の確認所見	老朽化した施設を計画的に整備する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 92

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	文化会館整備事業		担当部署	教育委員会生涯学習課		
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化施設の充実					▼
対象	文化会館利用者					
手段(方法)	施設の老朽化等に対応した修繕を行い、快適な利用環境を維持するため、計画的に施設整備を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金				
意図(ねらい)	来館者に快適な施設を整備し、市の文化拠点として利用促進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務				
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	H4	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	中央監視装置更新外			達成状況	100 %
	30年度実績	舞台ワイヤー等改修外			達成状況	100 %
	元年度計画	舞台機構改修外			達成状況	- %
	元年度実績	舞台機構改修外			達成状況	100 %
	2年度計画	屋上防水改修工事外			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
中央監視装置更新外		1				
舞台ワイヤー等改修外			1			
舞台機構改修外				1	1	
屋上防水改修工事外						1
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
使用料及び賃借料		234,792	2,817,504	2,818,000	2,817,504	2,818,000
工事請負費		16,534,800	23,004,000	75,000,000	65,890,000	80,000,000
備品購入費		198,320	5,562,000	9,100,000	8,748,000	
修繕料				482,000	49,500	782,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債		17,200,000	67,500,000	59,300,000	60,000,000
	その他					
	一般財源	16,967,912	14,183,504	19,900,000	18,205,004	23,600,000
直接事業費 総額		16,967,912	31,383,504	87,400,000	77,505,004	83,600,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	6	10	10	10	10
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		114,000	190,000	190,000	190,000	190,000
総事業費 計		17,081,912	31,573,504	87,590,000	77,695,004	83,790,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備内容が異なるため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	整備内容が異なるため。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	経年による損耗等が多く発生しているため、計画的に補修を検討していく必要がある。
市民のニーズ・満足度	来館者の快適な利用のためにも計画的な整備が必要である。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	経年による損耗等が多く発生しているため、計画的に補修を検討していく必要がある。
次年度予算への見直し方針	優先順位を決め年次的・計画的な施設整備を図る。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	優先順位を決め年次的・計画的な施設整備を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 経年劣化に伴う施設整備を行う。
	3年度以降の展開方針 計画的に優先順位を決め、年次的に整備を行う。
部長の確認所見	優先順位に基づき、計画的に整備を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 93

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	田淵記念館整備事業	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化施設の充実					▼
対象	田淵記念館利用者					
手段(方法)	損耗箇所の修繕整備を行い、快適な展示閲覧環境を維持するため、計画的な施設整備を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	来館者に快適な施設を整備し、市の文化拠点として利用促進を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	H9	年度	~	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	空調設備改修外		達成状況	100	%
	30年度実績	空調設備改修外		達成状況	100	%
	元年度計画	展示ケース購入		達成状況	-	%
	元年度実績	-		達成状況		%
	2年度計画	園地遊具解体		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
空調設備改修外		1	1	1	0	
園地遊具解体						1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
消耗品費		147,116				
修繕料		696,300	1,542,240	500,000		700,000
工事請負費		2,192,400	648,000			
備品購入費		179,010	0	200,000		
財源内訳	国県支出金		324,000			
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,192,400	1,866,240	700,000	0	700,000
直接事業費総額		2,192,400	2,190,240	700,000	0	700,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	6	6	6		6
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		114,000	114,000	114,000	0	114,000
総事業費計		2,306,400	2,304,240	814,000	0	814,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備内容が異なるため。				
	元年度予算と2年度予算の比較	整備内容が異なるため。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	経年による損耗に対し、兵庫県との連携をもとに計画的に補修していく必要がある。
市民のニーズ・満足度	来館者の快適な利用のために必要である。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	経年による損耗に対し計画的な補修を検討していく。また、整備にあたっては兵庫県との連携も必要となる。
次年度予算への見直し方針	優先順位を決め、年次的・計画的な施設整備を行う。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	優先順位を決め年次的・計画的な施設整備を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 経年劣化に伴う、整備を行う。
	3年度以降の展開方針 計画的に優先順位を決め、年次的に整備を行う。
部長の確認所見	優先順位に基づき、計画的に整備を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 169

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	アフタースクール子ども育成事業	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりに満ちた福祉社会を築く-子育てしやすい環境をつくる-子育てと仕事の両立の推進 ▼		
対象	放課後家庭に保護者が不在の児童		
手段(方法)	小学校等の空き教室等の施設を利用し、対象児童を放課後から午後6時まで預かる。		
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	共働き世帯への子育て支援策として実施し、児童の健全育成、少子化対策に資する。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務
根拠法令・条例等	児童福祉法、赤穂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、赤穂市アフタースクール子ども育成事業実施要綱		
その他実施の根拠			
始期・終期	H7	年度	～ 年度
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	8校で実施	達成状況 100 %
	30年度実績	9校で実施	達成状況 90 %
	元年度計画	全校で実施	達成状況 - %
	元年度実績	9校で実施	達成状況 90 %
	2年度計画	全校で実施	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
開設箇所		8	8	9	9	10
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		40,939,122	446,610,894	45,800,000	49,399,016	56,000,000
財源内訳	国県支出金	14,287,000	14,211,000	14,746,000	17,630,000	20,736,000
	地方債					
	その他	20,888,000	22,253,500	22,566,000	24,084,500	24,871,000
	一般財源	5,764,122	8,156,394	8,488,000	7,684,516	10,393,000
直接事業費総額		40,939,122	44,620,894	45,800,000	49,399,016	56,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	91	80	80	84	80
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		1,729,000	1,520,000	1,520,000	1,596,000	1,520,000
総事業費計		42,668,122	46,140,894	47,320,000	50,995,016	57,520,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	利用者が増えたため				
	元年度予算と2年度予算の比較	開設件数、利用者が増えたため				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	利用者数増加への対応、また全小学校区での実施にあたり、開設場所及び放課後児童支援員の確保
市民のニーズ・満足度	子育て支援策として市民のニーズは高く、未実施地区においても設置要望がある。
連携事業	放課後子ども教室
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない⇒下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業⇒⇒⇒下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="90"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度:下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	共働き世帯等、アフタースクールの必要な世帯が増しているが、これに対応した支援員等の対応が必要
次年度予算への見直し方針	利用者増が見込まれるので、これに対応した予算措置が必要
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
	アフタースクール必要児童の需要増に合わせた施設整備等、支援員等の対応を目指す。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 支援員の補充を図りながら円滑に運営を行う。
	3年度以降の展開方針 業務量の拡大に伴い、効率化についての検討を進める。
部長の確認所見	児童の需要増、業務量の拡大に伴い、効率化について検討する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 316

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	子育て学習活動推進事業	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりで満たした福祉社会を築く-子育てしやすい環境をつくる-家庭と地域における子育て支援					▼
対象	就学前子育て世帯の親子					
手段(方法)	両親教育インストラクターを中心に育児グループの育成・支援や子育てに関する講座を開催するなど、子育て学習活動を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	子育て中の親を支援し、自主的・主体的な子どもを育成する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市子育て学習センター設置及び運営要綱					
その他実施の根拠						
始期・終期	H5	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	子育てで悩む親の解消・孤独な子育ての解消					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	センター講座参加人数	1651人	達成状況	97	%
	30年度実績	センター講座参加人数	1721人	達成状況	101	%
	元年度計画	センター講座参加人数	1700人	達成状況	-	%
	元年度実績	センター講座参加人数	1347人	達成状況	79	%
	2年度計画	センター講座参加人数	1400人	達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
子育てグループ数		15	17	13	16	16
子育てグループ構成人数		770	604	700	458	500
センター講座参加人数		1,651	1,721	1,700	1,347	1,400
子育てサポート講座参加者		25	20	30	24	30
親子フェスティバル参加者		63	119	100	54	70
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		3,090,786	2,982,344	3,600,000	2,891,059	3,830,000
財源内訳						
	国県支出金	2,082,000	2,236,000	2,266,000	2,063,000	2,456,000
	地方債					
	その他	204,000	152,000	200,000	100,000	145,000
	一般財源	804,786	594,344	1,134,000	728,059	1,229,000
直接事業費 総額		3,090,786	2,982,344	3,600,000	2,891,059	3,830,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	43	30	30	30	30
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		5	5	5	5
人件費 総額		817,000	604,000	604,500	604,500	604,500
総事業費 計		3,907,786	3,586,344	4,204,500	3,495,559	4,434,500
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異なし				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	子育て支援の拠点として今後さらに充実した事業内容が求められる。
市民のニーズ・満足度	就園前児童の子育て支援事業としてニーズは高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="79"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	ニーズに合わせた事業の展開を検討していきたい。
次年度予算への見直し方針	さらに事業内容の充実を図る。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	引き続き未就園の親子に対して子育て学習支援活動を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 就園前の親子に対して、子育て支援活動の充実を図る。
	3年度以降の展開方針 就園前の親子に対して、子育て支援活動の充実を図る。
部長の確認所見	子育て支援活動を引き続き実施し、事業内容の充実を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 317

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	放課後子ども教室推進事業	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-信頼される学校園づくりを進める-地域との連携					▼
対象	放課後子ども教室を利用する児童					
手段(方法)	小学校等の空き教室を利用し、放課後児童の安全で健やかな居場所を確保する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	地域の人々と連携し放課後の児童の安全と健全な育成を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市放課後子ども教室推進事業実施要綱					
その他実施の根拠						
始期・終期	H19	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	4校で実施					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	4校で実施			達成状況	100 %
	30年度実績	4校で実施			達成状況	100 %
	元年度計画	4校で実施			達成状況	- %
	元年度実績	4校で実施			達成状況	100 %
	2年度計画	4校で実施			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
実施小学校数		4	4	4	4	4
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		1,849,568	2,040,130	2,320,000	2,083,757	2,290,000
財源内訳	国県支出金	1,254,000	1,007,000	1,280,000	928,000	1,256,000
	地方債					1,034,000
	その他					
	一般財源	595,568	1,033,130	1,040,000	1,155,757	
直接事業費総額		1,849,568	2,040,130	2,320,000	2,083,757	2,290,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	65	65	65	65	65
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		1,235,000	1,235,000	1,235,000	1,235,000	1,235,000
総事業費計		3,084,568	3,275,130	3,555,000	3,318,757	3,525,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異なし				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	現在未実施の学校においては実施方法を検討する必要がある。
市民のニーズ・満足度	集団下校実施校においては低学年児童の集団下校までの受け皿としてニーズ・満足度ともに高い。
連携事業	アフタースクール子ども育成事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
執行体制の効率性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	アフタースクールとの連携、実施方法等検討していく。
次年度予算への見直し方針	現在実施中の学校においては実施方法等は継続する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	各学校との事業の在り方を検討し、必要な箇所には設置を行いたい。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 アフタースクール子ども育成事業と連携しながら、新たな放課後児童対策の可能性を探る。
	3年度以降の展開方針 アフタースクール子ども育成事業と連携しながら、新たな放課後児童対策の可能性を探る。
部長の確認所見	アフタースクールと連携しながら、新たな放課後児童対策について検討する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 318

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	PTA活動事業補助金		担当部署	教育委員会生涯学習課		
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-若い力を健全に育成する-青少年健全育成の推進					▼
対象	PTA会員					
手段(方法)	PTA活動事業保険掛け金の1/2を補助する					
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	賠償保障制度付保険に加入する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	PTA会員数 2775人			達成状況	93 %
	30年度実績	PTA会員数 2710人			達成状況	90 %
	元年度計画	PTA会員数 2800人			達成状況	- %
	元年度実績	PTA会員数 2656人			達成状況	95 %
	2年度計画	PTA会員数 2800人			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
PTA会員数	2,800	2,775	2,710	2,800	2,656	2,800
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		346,875	338,750	350,000	332,000	350,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	346,875	338,750	350,000	332,000	350,000
直接事業費総額		346,875	338,750	350,000	332,000	350,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	30	30	30	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	570,000	570,000	570,000	95,000
総事業費計		441,875	908,750	920,000	902,000	445,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	PTA会員数の減による減額、PTA全国大会事務局としての人件費増。				
	元年度予算と2年度予算の比較	PTA会員数は同額、PTA全国大会事務局としての人件費分減。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	PTA活動を安全に参加しやすくするため、保険に加入してその補助を行っている。活動自体についても人的支援を行っている。				
市民のニーズ・満足度	PTA活動を安全に参加しやすくするため、ニーズは高い。				
連携事業					
関連事業					
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄		
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 2				
	<input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業				
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄		
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 2				
	<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある				
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	95 %	理由等所見欄		
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1				
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()				

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	PTA活動に対する重要性は高くなっており、それに伴い事務量が増加している。PTA活動を円滑に実施するため、今後も事務を充実していく必要がある。				
次年度予算への見直し方針	PTA活動に対する重要性は高くなっており、活動に安全に参加しやすくするためにも事業を継続する。				
関連部課等との協議状況					
関連部課					
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	PTA活動の円滑な推進のため、継続して補助金による支援を行う。				

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)			▼
	2年度の取り組み方針	PTA活動を促進するため、事務局として支援を行う。			
	3年度以降の展開方針	PTA活動を促進するため、事務局として支援を行う。			

部長の確認所見	継続してPTA活動の支援を行う。				
---------	------------------	--	--	--	--

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 319

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	赤穂観月会事業補助	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化事業・イベントの充実 ▼		
対象	赤穂観月会実行委員会(赤穂市文化協会)		
手段(方法)	赤穂市文化協会が行う赤穂観月会の事業費に対し補助金を交付する。		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	県内における各文化団体の活動を支援し、地域文化の向上を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	H16 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	1380	達成状況 138 %
	30年度実績	1200	達成状況 80 %
	元年度計画	1500	達成状況 - %
	元年度実績	1610	達成状況 107 %
	2年度計画	1500	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
入場者数	1,500	1,380	1,200	1,500	1,610	1,500
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		1,130,000	1,200,000	1,150,000	1,096,938	1,100,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,130,000	1,200,000	1,150,000	1,096,938	1,100,000
直接事業費総額		1,130,000	1,200,000	1,150,000	1,096,938	1,100,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		1,225,000	1,295,000	1,245,000	1,191,938	1,195,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異無し				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異無し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	事業は定着しており、市民へのPRが必要。
市民のニーズ・満足度	参加者数は安定しており、満足度も高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="4"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="107"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	チケット販売増に努めることで、補助金に頼らない運営について指導したい。
次年度予算への見直し方針	文化芸術活動推進のため補助は継続する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	文化芸術活動推進のため補助は継続する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 効果的な事業実施を促す。
	3年度以降の展開方針 効果的な事業実施を促す。
部長の確認所見	実施団体と連携を図り、効果的に事業を実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 320

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	(市民文化振興事業) 勤労者芸術文化振興助成事業	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化芸術活動の充実					▼
対象	赤穂労働者福祉協会					
手段(方法)	勤労者を対象として講演会又は発表会等の実施に対し補助金を交付する。					
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	県内における各文化団体の活動を支援し、地域文化の向上を図る。					
実施の必要性 (該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標 (根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標 (達成状況)	29年度実績	230/300		達成状況	76	%
	30年度実績	270/300		達成状況	90	%
	元年度計画	300		達成状況	-	%
	元年度実績	249		達成状況	83	%
	2年度計画	150		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
入場者数		230	270	300	249	150
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		900,000	800,000	760,000	760,000	375,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	900,000	800,000	760,000	760,000	375,000
直接事業費総額		900,000	800,000	760,000	760,000	375,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		995,000	895,000	855,000	855,000	470,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	補助対象の見直し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	事業は定着しているが、参加者が固定している。		
市民のニーズ・満足度	入場者の満足度は高く、開催へのニーズは多い。		
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	4	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	83 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	今後は、自主財源を確保し補助金に頼らない形での実施方を検討する必要がある。		
次年度予算への見直し方針	現状維持とするが、今後は他の形での実施方を検討する必要がある。		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	自主財源を確保し補助金に頼らない形での実施方を検討する必要がある。		

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	2年度の取り組み方針	効果的な事業実施を促す。	
	3年度以降の展開方針	効果的な事業実施を促す。	
部長の確認所見	効果的な事業実施に努める。		

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 324

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	(文化とみどり財団補助金) 文化振興事業等補助	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化事業・イベントの充実					▼
対象	赤穂市文化とみどり財団					
手段(方法)	幅広い年代層、多くの市民に質の高い文化事業を提供する事業に補助する。					
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	文化とみどり財団が実施する文化普及事業に対し補助し、市民文化の向上を図る。					
実施の必要性 (該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標 (根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標 (達成状況)	29年度実績	歴史文化事業、義士研究事業、芸術文化事業、普及啓発事業、図書発行事業、管理費			達成状況	100 %
	30年度実績	歴史文化事業、義士研究事業、芸術文化事業、普及啓発事業、図書発行事業、管理費			達成状況	100 %
	元年度計画	歴史文化事業、義士研究事業、芸術文化事業、普及啓発事業、図書発行事業、管理費			達成状況	- %
	元年度実績	歴史文化事業、義士研究事業、芸術文化事業、普及啓発事業、図書発行事業、管理費			達成状況	100 %
	2年度計画	歴史文化事業、義士研究事業、芸術文化事業、普及啓発事業、図書発行事業、管理費			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
文化情報誌発行		18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
団体登録		26	25	25	23	23
助成件数		17	18	25	14	23
義士研究(史跡を訪ねる)		20	24	25	21	
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		23,268,812	22,938,639	26,250,000	22,536,254	27,720,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	23,268,812	22,938,639	26,250,000	22,536,254	27,720,000
直接事業費総額		23,268,812	22,938,639	26,250,000	22,536,254	27,720,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		23,363,812	23,033,639	26,345,000	22,631,254	27,815,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異なし				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	市民ニーズの多様化・新ジャンル化への対応
市民のニーズ・満足度	良質な文化・芸術への要望は多い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考える事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	赤穂市の歴史、文化等を市民に紹介するなど、市民文化の向上を図る上で重要な事業が多い。その趣旨に沿った内容でかつ事業収入の増を図る事業内容が必要である。
次年度予算への見直し方針	赤穂市の歴史、文化等を市民に紹介するなど、市民文化の向上を図る上で重要な事業が多い。その趣旨に沿った内容でかつ事業収入の増を図る事業内容が必要である。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	市民のニーズに対応した活動の検討
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 市民ニーズを把握しながら、効果的な事業実施を図る。
	3年度以降の展開方針 市民ニーズを把握しながら、効果的な事業実施を図る。
部長の確認所見	財団との連携を密にし、効果的な事業実施を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 325

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(文化とみどり財団補助金) 科学館指導普及事業補助	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習の充実		
対象	赤穂市文化とみどり財団		
手段(方法)	海洋科学館が行う運営協会の運営補助、子ども科学教室事業に対し補助金を交付する。		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	海洋科学館事業に補助することにより、子どもの自然科学教育の向上に資する。		
実施の必要性 (該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	H6 年度 ~ 年度		
到達目標 (根拠数式・数値又は文章)	運営協会 4回開催。子ども科学教室 参加者35人(募集定員35人)		
単年度目標 (達成状況)	29年度実績	運営協会 4回開催。子ども科学教室 参加者35人	達成状況 100 %
	30年度実績	運営協会 4回開催。子ども科学教室 参加者39人	達成状況 111 %
	元年度計画	運営協会 4回開催。子ども科学教室 参加者35人	達成状況 - %
	元年度実績	運営協会 7回開催。子ども科学教室 参加者35人	達成状況 100 %
	2年度計画	運営協会 7回開催。子ども科学教室 参加者35人	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
運営協会委員数		11	15	15	15	14
子ども科学教室参加者数		35	39	35	35	35
夏休み実験教室		320	235	400	450	400
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		770,000	611,159	770,000	670,562	730,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	770,000	611,159	770,000	670,562	730,000
直接事業費 総額		770,000	611,159	770,000	670,562	730,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費 計		865,000	706,159	865,000	765,562	825,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異なし				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	子ども達に自然や科学的な法則に触れる機会を提供することにより、子どもの科学の目を養う必要がある。			
市民のニーズ・満足度	多くの参加者があり、満足度も高い。			
連携事業				
関連事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり			
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業			
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある			
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()			
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3
	理由等所見欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()			

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	講座内容を科学全般の幅広い内容として現行事業を継続するとともに、科学への興味を引き出す事業とする。		
次年度予算への見直し方針	講座内容を科学全般の幅広い内容として現行事業を継続するとともに、科学への興味を引き出す事業とする。		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	子どもたちが科学に興味を示すことができる講座の展開		

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	2年度の取り組み方針	子どもたちにも分かりやすく、楽しめる講義を実施し、科学への興味を喚起していく。	
	3年度以降の展開方針	子どもたちにも分かりやすく、楽しめる講義を実施し、科学への興味を喚起していく。	

部長の確認所見	講座内容を検討し、効果的な事業実施を図る。
---------	-----------------------

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 326

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	(文化とみどり財団補助金) 文化会館自主事業補助	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化事業・イベントの充実					▼
対象	赤穂市文化とみどり財団					
手段(方法)	良質で集客力があり、様々なジャンルの勸奨事業、市民参加型事業、文化奨励事業を月1回以上開催する事業に対し補助を行う。					
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	来館者に快適な施設を整備し、市の文化拠点として利用促進を図る。					
実施の必要性 (該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標 (根拠数式・数値又は文章)	自主事業入場者数					
単年度目標 (達成状況)	29年度実績	9,395/9,825		達成状況	97	%
	30年度実績	8273/7955		達成状況	104	%
	元年度計画	7820		達成状況	-	%
	元年度実績	6416		達成状況	82	%
	2年度計画	8000		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
自主事業入場者数		9,395	8,273	7,820	6,416	8,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		23,157,928	21,057,675	22,500,000	20,321,932	22,000,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	23,157,928	21,057,675	22,500,000	20,321,932	22,000,000
直接事業費総額		23,157,928	21,057,675	22,500,000	20,321,932	22,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		23,252,928	21,152,675	22,595,000	20,416,932	22,095,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異無し				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異無し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	多種多様な市民ニーズに対応しながら集客率の向上を目指した事業展開が必要である。
市民のニーズ・満足度	良質の文化・芸術の鑑賞などニーズが多く、企画・参加型の事業では出演も多い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="82"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	集客率の向上、共催事業や補助事業の活用による事業費の削減
次年度予算への見直し方針	集客率の向上、共催事業や補助事業の活用による事業費の削減
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 多種多様な市民ニーズに応えながら、集客率の向上が図れる事業を選定するとともに、共催事業や補助事業の活用により事業費の削減を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 市民ニーズを把握反映しながら企画を行い、効果的な事業実施を図る。
	3年度以降の展開方針 市民ニーズを把握反映しながら企画を行い、効果的な事業実施を図る。
部長の確認所見	財団との連携を密にし、市民ニーズを把握しながら、効果的な事業実施を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 327

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(生涯学習推進事業) 家庭教育学級事業	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-若い力を健全に育成する-家庭教育の充実		
対象	赤穂市PTA連合会		
手段(方法)	各幼・小・中のPTAが自主的に決定した学習内容により開設する家庭教育学級事業に対し補助金を交付する。		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	地域における家庭教育基盤の形成推進が図られ、ひいては青少年の健全育成にかかる活動に寄与される。		
実施の必要性 (該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~	年度	
到達目標 (根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標 (達成状況)	29年度実績	469時間	達成状況 94 %
	30年度実績	455時間	達成状況 91 %
	元年度計画	450時間	達成状況 - %
	元年度実績	448時間	達成状況 100 %
	2年度計画	400時間	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
実施時間		469	455	450	448	400
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		1,050,000	1,000,000	950,000	950,000	850,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,050,000	1,000,000	950,000	950,000	850,000
直接事業費総額		1,050,000	1,000,000	950,000	950,000	850,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		1,145,000	1,095,000	1,045,000	1,045,000	945,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	補助金の見直し				
	元年度予算と2年度予算の比較	補助金の見直し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	教室内容の企画・運営を地域の特性を生かしながら実施する必要がある。少子化・就労による参加者減少。			
市民のニーズ・満足度	地域活動の中で家庭教育力を高めるため市民のニーズは多い。			
連携事業				
関連事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり			
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入			
	<input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業			
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考える事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入			
	<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある			
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()			
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている			
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入			
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()			

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	保護者の自発的な活動であり、家庭や地域の教育力向上に資するが、少子化・就労により参加者が減少傾向にある。			
次年度予算への見直し方針	保護者の自発的な活動であり、家庭や地域の教育力向上のため、今後も継続して実施する必要がある。			
関連部課等との協議状況				
関連部課				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼		
	保護者の自発的な活動であり、家庭や地域の教育力向上のため、今後も継続して実施する必要がある。受講した内容については家庭教育の向上のため活用していく。			

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼		
	2年度の取り組み方針	PTA会員の自発的な活動であり、家庭・地域の教育力向上のため、継続実施する。		
	3年度以降の展開方針	PTA会員の自発的な活動であり、家庭・地域の教育力向上のため、継続実施する。		
部長の確認所見	PTA活動支援として継続的に実施する。			

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 335

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常					
事務事業名称	歴史資料購入費	担当部署	教育委員会生涯学習課				
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-歴史・伝統文化を継承し活用する-調査研究活動の充実と郷土資料の収集・						
対象	市民						
手段(方法)	赤穂市の歴史等に関する資料等を購入し、歴史博物館で展示、または保存・修復を行う。						
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	新しい資料等の購入で展示内容を充実させることにより、市民の教養の向上・文化の発展を推進する。						
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務			
根拠法令・条例等							
その他実施の根拠							
始期・終期	S60	年度	~	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)							
単年度目標(達成状況)	29年度実績	裏表 忠臣蔵双六外				達成状況	%
	30年度実績	芝原家文書外				達成状況	%
	元年度計画	義士関係資料、赤穂の歴史と文化に関する実物資料、図書				達成状況	- %
	元年度実績	大石内蔵助書状外				達成状況	%
	2年度計画	義士関係資料、赤穂の歴史と文化に関する実物資料、図書				達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
資料購入費		2,000,000	1,831,391	1,800,000	2,109,630	1,600,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
備品購入費		2,000,000	1,831,391	1,800,000	2,109,630	1,600,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,000,000	1,831,391	1,800,000	2,109,630	1,600,000
直接事業費 総額		2,000,000	1,831,391	1,800,000	2,109,630	1,600,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費 計		2,095,000	1,926,391	1,895,000	2,204,630	1,695,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	歴史的価値の高い資料購入のため増				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異無し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	歴史的価値の高い資料は価格も高いが、話題性が高く、入館者増につながる。
市民のニーズ・満足度	歴史的価値の高い資料への市民の期待は高い
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	資料購入にあたっては赤穂市にとっての必要性や価値を慎重に判断する。
次年度予算への見直し方針	資料購入にあたっては赤穂市にとっての必要性や価値を慎重に判断する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	今後も歴史的価値と予算を見比べた適切な資料収集を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 歴史博物館資料の体系的な収集を実施する。
	3年度以降の展開方針 歴史博物館資料の体系的な収集を実施する。
部長の確認所見	財団との調整を図りながら、効果的な資料収集に努める。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 336

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常		
事務事業名称	記念館資料購入費	担当部署	教育委員会生涯学習課	
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-歴史・伝統文化を継承し活用する-調査研究活動の充実と郷土資料の収集・			
対象	市民			
手段(方法)	資料等を購入し記念館の展示内容の充実を図る。			
手法(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金			
意図(ねらい)	新しい資料等の購入で展示内容を充実させることにより、市民の教養の向上・文化の発展を推進する。			
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務			
根拠法令・条例等				
その他実施の根拠				
始期・終期	H13 年度 ~ 年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)				
単年度目標(達成状況)	29年度実績	林鶴雄作油彩画 外	達成状況	%
	30年度実績	今尾景年作品 外	達成状況	%
	元年度計画	赤穂市関連作品	達成状況	- %
	元年度実績	—	達成状況	%
	2年度計画	赤穂市関連作品	達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
資料購入費		838,000	309,500	950,000	0	950,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
備品購入費		838,000	309,500	950,000	0	950,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	838,000	309,500	950,000	0	950,000
直接事業費総額		838,000	309,500	950,000	0	950,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		933,000	404,500	1,045,000	95,000	1,045,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	購入作品の選別による実績				
	元年度予算と2年度予算の比較	大きな差異無し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	美術的価値の高い資料は価格も高いが、話題性も高く、入館者増につながる。
市民のニーズ・満足度	赤穂に関する美術品は市民の関心も高く、ニーズも多い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	資料購入にあたっては赤穂市にとっての必要性や価値を慎重に判断する。
次年度予算への見直し方針	資料購入にあたっては赤穂市にとっての必要性や価値を慎重に判断する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	今後も美術的価値と予算を見比べた適切な資料収集を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 美術工芸館収蔵品の体系的な収集を行う。
	3年度以降の展開方針 美術工芸館収蔵品の体系的な収集を行う。
部長の確認所見	財団との調整を図りながら、効果的な資料収集に努める。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 553

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	文化交流事業	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	にぎわい-多様な交流を推進する-特色ある地域間交流を進める-都市間交流の推進		
対象	赤穂市文化協会		
手段(方法)	都市間文化交流事業に補助金を交付		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	忠臣蔵ゆかりの笠間市、西尾市、高梁市、山鹿市との作品展交流により市民レベルで文化交流を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	H4 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績		達成状況 %
	30年度実績		達成状況 %
	元年度計画		達成状況 - %
	元年度実績		達成状況 %
	2年度計画		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
訪問回数		3	2	3	3	3
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		551,000	544,000	539,000	417,583	499,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	551,000	544,000	539,000	417,583	499,000
直接事業費総額		551,000	544,000	539,000	417,583	499,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		646,000	639,000	634,000	512,583	594,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	派遣人数、交流人数の減				
	元年度予算と2年度予算の比較	交流人数の見直し				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	地理的要因や団体構成を考慮した交流を図る。
市民のニーズ・満足度	市民レベルでの交流はニーズが高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="4"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	地理的条件や団体構成を考慮した交流を図る。
次年度予算への見直し方針	地理的条件や団体構成を考慮した交流を図る。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	地理的条件や団体構成を考慮した交流を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 他市との文化交流を活性化することにより、本市の文化レベルの向上を図る。
	3年度以降の展開方針 他市との文化交流を活性化することにより、本市の文化レベルの向上を図る。
部長の確認所見	市民レベルの文化交流を継続して実施する。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 559

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	文化協会補助金(市民文化祭)	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化芸術活動の充実 ▼		
対象	赤穂市文化協会		
手段(方法)	市民文化祭事業に補助金を交付		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	市民の文化活動の成果を発表する機会や文化芸術を身近に親しむ機会を設けることにより、市民文化の質的及び量的向上を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	S37 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績		達成状況 %
	30年度実績		達成状況 %
	元年度計画		達成状況 - %
	元年度実績		達成状況 %
	2年度計画		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
出展者		2,500	2,500	3,000	2,500	3,000
入場者		13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		1,545,000	1,545,000	1,869,000	1,832,650	1,545,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,545,000	1,545,000	1,869,000	1,832,650	1,545,000
直接事業費総額		1,545,000	1,545,000	1,869,000	1,832,650	1,545,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	4	4	4	4	4
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		76,000	76,000	76,000	76,000	76,000
総事業費計		1,621,000	1,621,000	1,945,000	1,908,650	1,621,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	50周年記念事業分増額				
	元年度予算と2年度予算の比較	50周年記念事業分減額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	開催時期、場所等の検討の必要がある。
市民のニーズ・満足度	文化芸術に親しむことができる機会であり、市民の満足度は高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 4 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	開催場所等の検討により、より効果的な実施に努める。
次年度予算への見直し方針	開催場所等の検討により、より効果的な実施に努める。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	自主財源の確保や開催場所等の検討を行い、より効果的な実施に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 開催時期や開催場所について検討し、より多くの市民が参加できる内容とする。
	3年度以降の展開方針 開催時期や開催場所について検討し、より多くの市民が参加できる内容とする。
部長の確認所見	文化協会と連携を密にし、効果的な事業実施を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 560

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	文化協会事業奨励(美術展)	担当部署	教育委員会生涯学習課			
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化芸術活動の充実					▼
対象	赤穂市美術展実行委員会					
手段(方法)	美術展を委託により開催する。					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	市民の文化活動の成果を発表する機会や文化芸術を身近に親しむ機会を設けることにより、市民文化の質的及び量的向上を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠						
始期・終期	H16	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	美術展開催委託		達成状況		%
	30年度実績	美術展開催委託		達成状況		%
	元年度計画	美術展開催委託		達成状況	-	%
	元年度実績	美術展開催委託		達成状況		%
	2年度計画	美術展開催委託		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
美術展出品数		376	394	350	325	350
述べ入場者数		2,371	2,638	3,000	1,857	2,500
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
委託料		2,100,000	2,100,000	2,100,000	1,919,760	2,010,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,100,000	2,100,000	2,100,000	1,919,760	2,010,000
直接事業費総額		2,100,000	2,100,000	2,100,000	1,919,760	2,010,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	5	5	5	5	5
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
総事業費計		2,195,000	2,195,000	2,195,000	2,014,760	2,105,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	大きな差異無し				
	元年度予算と2年度予算の比較	会場受付人数減による賃金減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	開催場所等の検討により、さらに効果的な実施を図る必要がある。
市民のニーズ・満足度	市民の芸術活動の発表の場及び身近に芸術に親しむ場として満足度は高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="4"/> <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="4"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	開催場所等の検討により、さらに効果的な実施を図る
次年度予算への見直し方針	開催場所等の検討により、さらに効果的な実施を図る
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	出展者の意識向上及び経費削減のため、出展料の徴収を検討する必要がある。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 内容のさらなる活性化を図りながら、効果的な事業実施を促す。
	3年度以降の展開方針 内容のさらなる活性化を図りながら、効果的な事業実施を促す。
部長の確認所見	効果的な事業実施を図る。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 561

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	児童合唱団活動補助金	担当部署	教育委員会生涯学習課
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-文化芸術活動を推進する-文化芸術活動の充実 ▼		
対象	赤穂市児童合唱団		
手段(方法)	赤穂市児童合唱団に補助金を交付		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	合唱を通じ青少年の健全育成と市民文化の向上に寄与する。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	H8 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績		達成状況 %
	30年度実績		達成状況 %
	元年度計画		達成状況 - %
	元年度実績		達成状況 %
	2年度計画		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
定期演奏会		1	1	1	1	1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
負担金補助及び交付金		350,000	502,000	332,000	322,858	441,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	350,000	502,000	332,000	322,858	441,000
直接事業費総額		350,000	502,000	332,000	322,858	441,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	2	2	2	2	2
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
総事業費計		388,000	540,000	370,000	360,858	479,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	オーストラリアロッキングハム市との交流事業分減。				
	元年度予算と2年度予算の比較	全日本少年少女合唱祭開催経費増。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	団員が減少傾向にあり、活動活性化方策の検討が必要。
市民のニーズ・満足度	赤穂市主催の行事等で演奏の機会も多く、市民のニーズ・満足度は高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 4 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input checked="" type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 4 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	団員が減少傾向にあるため、自主財源の確保及び活動の活性化方策の検討が必要。
次年度予算への見直し方針	団の活動趣旨にのっとり、引き続き活動に係る費用を助成する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 団の活動趣旨にのっとり、引き続き活動に係る費用を助成する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 合唱団活動の活性化と円滑な団運営のため補助を行う。
	3年度以降の展開方針 合唱団活動の活性化と円滑な団運営のため補助を行う。
部長の確認所見	青少年の健全育成と市民文化の向上のため、継続実施する。